

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
ちょう	中	つくる (美術)	森永

<ねらい>

- ・手順を理解して画用紙に模様をつけることができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

(1) 模様をつける。（モダンテクニックを使って）

- ・デカルコマニー

（画用紙を半分に折って、開く→絵の具を片側につける。→再び折る）

- ・ストリング

（ストローに紐を巻く。絵の具をつけて画用紙の上で転がす。）

- ・ドリッピング

（多めの水で溶いた絵の具を筆につけ、画用紙の上で振り、水滴をとばす→ストローで水滴を吹く。）

- ・スタンピング

（グラウンドにイチョウガカエデの葉を拾いに行く。→葉に絵の具をつけて画用紙につける。）

- ・にじみたらし込み

（はけを使って画用紙全体に水を含ませる。絵の具をたらす。）

- ・バチック

（クレヨンで模様を描く。絵の具で色をつける。）

(2) コラージュ

- ・(1) で作った模様を線に沿ってはさみで切る。

（教師があらかじめちょうの形になるように線をひいておく。）

- ・洗濯のりを筆につけて、ちょうの形になるように画用紙につけていく。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

○良かった点

- ・各技法（モダンテクニック）を2回ずつ取り組むようにしたので、生徒は手順を覚えて作業に取り組むことができた。

○改善点

- ・葉を使ってのスタンピングは、模様がつきにくかった。別の素材を使ってもいいかもしれない。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・画用紙、絵の具、筆、はけ、ストロー、紐（百円ショップ）
洗濯のり（ホームセンター）